

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
物理基礎	2	生命科学	E	小野 靖子
目 標	物理学が日常生活や社会とどのように関連しているかを知り、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。自然界の基本の基本法則が数理的に成り立っていることを理解する。 自然現象を数理的に捉え、数学的扱いができるようにする。 科学技術の在り方やエネルギー問題について考えるために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的知識・概念	実験・観察技能	科学的思考力
	自然現象に興味を持ち、実験・観察等に意欲的に取り組む態度。	自然法則が数理的構造を持つことを理解し、物事を論理的に考える力。	現象の測定などを行い数量化し、数理的取り扱いをする技能。	演習をおこなうことで、法則を運用する力。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	物体の運動とエネルギー ・直線運動の世界	運動を表すための座標・ベクトルの考え方を理解し、運動を数学的に取り扱いができるようにする。
	期末	・力と運動の世界 ・日常に潜む力	物体にはたらく様々な力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力が釣り合う条件を見いだせるようになる。
二学期	中間	・仕事とエネルギー さまざまな物理現象とエネルギー ・熱	力学量である仕事の定義からエネルギーの性質を学ぶ。エネルギー保存則からエネルギーの形が変化してもその総量は変化しないことを理解し、自然界でエネルギーのもつ意味を理解する。
	期末	・波	音と光は波動現象で共通の性質がある。波の性質を理解し、光の性質を理解する。
三学期	期末	・電気 ・エネルギー	身近な電気の現象から電子の働きである電気の性質を理解し、直流回路を通して電気の応用面を学ぶ。
評価の方法		出席状況、授業態度、定期考査、提出物など	
学習活動の特徴		基本事項の定着に重点を置く。	
授業の形態		クラス単位、一斉授業、講義・実験など	
使用教科書		「新編 物理基礎」(東京書籍)	
使用副教材		「ニューサポート 新編 物理基礎」(東京書籍)	
用意するもの		教科書、ノート	
備 考			